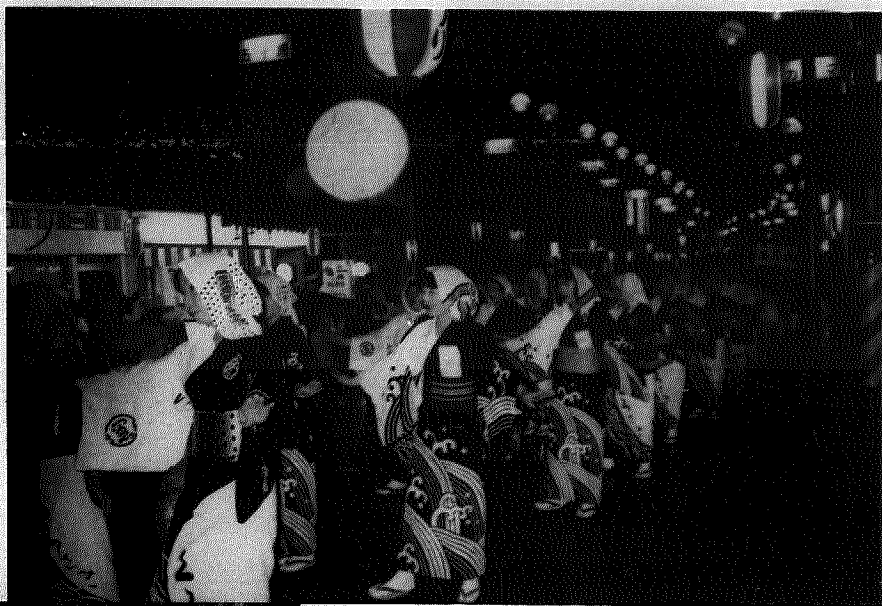


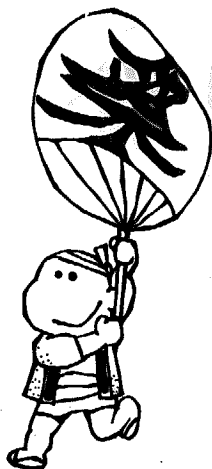
# 民謡流し、お祭広場、花火大会と盛りだくさん

## 今年も黒崎まつりが開催される



### 大民謡流し

17日夜、大野八区から仲町までの通りで行われました。町民謡連盟の皆さんの歌と伴奏で『黒崎よいとこ』『新潟甚句』を踊りました。当日の参加者は雨天のため、約800人でしたが、雨にも負けず踊っていました。民謡連盟・参加者の皆さん、お疲れさまでした。写真下は、終了後、抽選会の賞品を受け取る皆さん。



今年で九回目をかぞえた、黒崎まつりが、八月十七日(火)、十八日(水)の二日間、盛大に開催されました。十七日は町芸能保存会のみなさんがふれ太鼓でまつり気分を盛り上げ、夕方には大野商店街で大民謡流しが開催されました。残念なこと当日は雨天となりましたが、その雨も吹きとばすような熱気でした。十八日は会場を総合体育館・農村環境改善センター周辺に移し、お祭り広場・ウルトラクイズなどが行われ、二百二十三発の花火で祭りを締めくくりました。



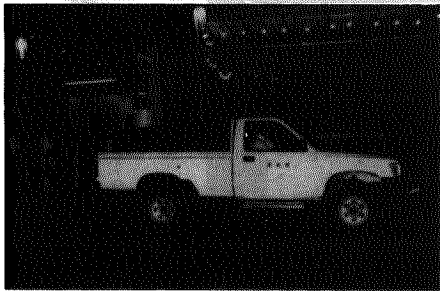
### ふれ太鼓

町芸能保存会の皆さんが、全町をまわって黒崎まつりを知らせます。午前中は町南部、中部方面を午後からは北部方面をまわりました。こちらも雨の中のふれ太鼓となりました。保存会の皆さん、お疲れさまでした。



#### ▶まつりの前

民謡流しの前に、舞台のちよちゃんの飾りつけをする民謡連盟の皆さん。



#### ▶まつりのあと

民謡流しが終わったあと、会場の椅子や音響設備を撤去しトラックに積み。



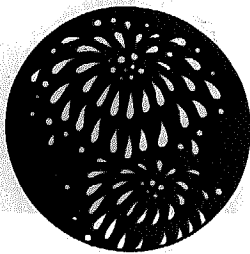
### おまつり広場

十八日の午後、総合体育館前で、町商工会を中心にまつり広場が開かれました。子供たちに人気の輪投げ、金魚すくいなどの出店のほか、ゴーカートやふあふあホースなども登場し、子供も大人も楽しみました。また出店では北海道南西沖地震の募金など行われ、郵便局や骨髄バンクも参加しました。



### 花火大会

黒崎まつりで、恒例となったこの花火大会。今年も町内の企業・商店などから寄付を受け全部で23発が打ち上げられました。この花火、毎年打ち上げ数が増えており、来年もまた楽しみなところ。



#### ▶まつりの前

おまつり広場の会場づくり。まず、テントを組立て、商品を運びます。



#### ▶まつりのあと

花火大会の翌日、会場のゴミ拾いをする。十八袋分のゴミが出ました。



### ウルトラクイズ・子供チャレンジ大会

総合体育館では、ウルトラクイズが行われ子供の部は約百九十人、大人の部は約二百人が参加しました。

「初めての企画だったので開催時間が遅れて申し訳なかった」と商工会は話していました。

また、コンサートや改善センターでは、じゃんけん紙ちぎりなどの子供チャレンジ大会など行われました。

